

課題番号 11, 18 合同会議 議事メモ

日時： 2021年5月27日 13:30-15:20 (ZOOM)

参加者：三浦、宇佐見、藤堂、石崎、水口、長谷川、森高、佐藤、濱口、大館、伊藤篤史、大谷、松岡、小林、佐竹、沼波、仲西、高山、中村、庄司

1. 趣旨説明 (宇佐見)

2. 話題提案 (三浦)

ボトムアップシミュレーションのための No.18 からの提案
モデル化のテンプレートとしての流体クロージャーや SGS モデルの利用
自由同逓減手法 (KL, POD, DMD など) で得られる構造と微視的效果

3. 自由討論

- ・ No.11 の参加者は、個々の研究や物理の解明を重要にしたいと思っているので、モデル化に重心が偏るのは好ましくない。
- ・ PIC と MHD の関係のみ議論されているが、PIC よりも微細なスケールについてはどのように扱うのか？
- ・ ミクロの物理をモデル化するに当たっては、テンプレートから外れたいというのが No.11 の提案の主旨である。
- ・ しかし一方で、どのようにモデル化するかという道筋を示すことも大事で概念上矛盾する点がある。
- ・ No.11 のボトムアップと No.18 の構造抽出の関係が分かりにくい。
- ・ ユニットを運営するにあたって、科研費を含めた研究費をどのように考えるのか。
- ・ プラズマシミュレータの将来についてどのように考えるか。